

平成22年度事業計画

(概要)

全国のシルバー人材センターが長引く不況にあえぐ中、昨年、新政権が補助事業の仕分けを行い、シルバー事業も補助金縮減の対象にしたことから、従来事業の廃止や平成22年度補助金の減額が行われました。

23年度にはさらに補助金の大幅な減額が想定されるため、22年度中には事務費の引き上げを検討し、財政面を中心とした今後のセンターの運営計画について、早急に策定しなければならない状況にあります。

一方、今年度からは高齢者生活援助サービス事業に代わって、新たに「企画提案方式事業（安心暮らしお助け隊事業）」を実施する方針で、より多くの会員の事業参画が期待されています。

また、職群班を増やし、会員自らが就業開拓に取り組むシステムの構築を急ぐとともに、多様な講習・研修の場を増やし、会員の技術と資質の向上に努めます。

なお、23年度には、当センターの記念すべき20周年を迎えることから、記念誌編集委員会も設けることにします。

(事業)

1. 職群班の組織拡大

昨年度始動した庭木班に続いて、草刈班、除草班、害虫駆除班、薬剤散布班を順次設置し、会員が自らの裁量で就業を推進する、いわゆる自主・自立に向けた活動の展開を目指します。また、予約制を推進するとともに、見積書の様式を改め、発注者が安心して仕事を依頼できるように努めます。

2. 企画提案方式事業（安心暮らしお助け隊事業）の実施

市の「高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きと暮らせる社会の実現」に役立て、かつ会員が「福祉の受け手から福祉の担い手へ」を目ざす目的で、新たに、一人暮らしや高齢者世帯を対象に、安心暮らしお助け隊事業を展開することとします。

3. 安全・適正就業の徹底

シルバーの基本理念である、「臨時的・短期的な仕事をみんなで分け合う」ことをモットーに、長期間・継続的な就業の見直しを図ります。また、安全就業の徹底を図るため、安全委員による月1回のパトロールを引き続き行って参ります。

4. 各種講習会の実施

会員の技術向上により就業率を高めるため、SP事業講習会や独自講習会を可能な限り開催します。また、増加するりんご作業への要望に応えるため、対応できる会員を育成します。

5. 公益社団法人認定の準備

平成13年以降、公益法人制度の大幅な改革が行われ、25年までに新法人の認定を受けなければならないため、定款の変更を始めとする申請の準備作業を進めます。

6. 記念誌編集委員会の設置

平成23年に当センターの創立20周年を迎えることから、20周年記念誌発行に向けた編集委員会を設置します。